

母の秘密、
娘の秘密、
妻の秘密、
そして今、
私たちの秘密が
解き明かされる――

大切なものは決してみえない。

めざめ Carnages

✦ 2002年カンヌ国際映画祭“ある視点”部門正式出品《ヤング賞》受賞

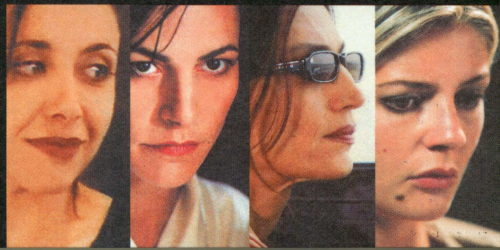
デルフィース・グレース長編初監督作品

アンヘラ・モリーナ/キアラ・マストロヤンニ/ルシア・サンチェス/リオ/ジャック・ガンブラン

2002年/フランス・ベルギー・スペイン・スイス合作/2時間12分/カラー/シネマスコープサイズ/35mm/ドルビーSRD

提供:エレファントピクチャー+日活・ユースベース 後援:ユニフランス 配給:ユースベース、BALHAZAR PRODUCTIONS présente VENTES INTERNATIONALES:WILD BUNCH

CC BY NC ND YSR STUDIO GEMMA S M V M V A diaphana



2002年カンヌ国際映画祭
 “ある視点”部門正式出品《ヤング賞》

キエフ国際映画祭2002《最優秀作品賞》/ブラジリア映画祭2002《最優秀作品賞》
 第46回ロンドン映画祭《サザランド・トロフィー(新人賞)》 第13回ストックホルム国際映画祭《最優秀脚本賞》 受賞

アルトマンからアルモドバルへと連なる現代的な映画の語り口。

この若い女流作家が狙う濃密さと奇妙さのレベルは、度々、先人たちの場所へ辿り着いている。

.....《ル・モンド紙》

この物語は、愛と死についてのシュールな大河ドラマであり、

同時に喪失、回り道、幻影、そして新しい自分と出会う、

情熱的な旅の詩でもある。そして誰もがその旅へと誘われるのだ。

.....ミシェル・ルビション《ステュディオ・マガジン誌》

スペインからフランスへ。ラテンの調べに導かれ孤独な人生たちが
 が出会い、互いの愛にめざめる、家族再生への旅路。

保育園に勤めるジャンスは、母アリスが心に深く隠している秘密を、そして母親からの愛情をいつも探している。初めての出産をひかえたベティは、夫ジャックに大事なことを伝えられないまま、臨月を迎えている。売れない女優カルロッタは、母譲りの黒子に心を悩ましている。いちばん大切なことを伝えられない女たちは、片目の闘牛ロメロと敗れた若きマタドール(闘牛士)の魂に導かれ、ささやかな幸せに辿り着く……。

闘牛ロメロがつなく、運命の絆

この物語で、ヒロインたちの運命を大きく変容させるのは、片目の闘牛ロメロ。若きマタドールに瀕死の傷を負わせたために、殺され、解体されてしまうロメロだが、バラバラとなった眼球、角、骨、肉片の各部位が、あたかもく神>のように彼女たちの生の実相に深く関わり、その運命を完全に支配してしまう。そして、彼女たちが抱える癒しがたい苦悩と押し隠していた秘密が、闘牛という啓示的なく死>とくエロティシズム>のセレモニーをきっかけに、露わにされてゆく――。

闘牛というモチーフは、デルフィース・グレースの創意に富んだイマジネーションを物語る。このく聖なる>見世物については、これまでアーネスト・ヘミングウェイ(「敗れざる者」「午後の死」)、ジョルジュ・バタイユ(「眼珠譚」)をはじめ、数多くの芸術家が熱狂的なオマージュを捧げてきた。とくにシュールレアリスムの詩人ミシェル・レリスが「闘牛場」で演じられる行為はすべて、この半獣神以外のなにものでもない牛という英雄の公開の死に対する儀礼的な準備である(「闘牛鑑」と喝破したのは興味深い)。

「第二のフランソワ・オゾン」――ユニークな才能があふれる
 女流監督デルフィース・グレースの鮮烈な長編デビュー作。

「めざめ」は一見、関連がなさそうな四つの家族、十四人の主要な登場人物たちのスケッチによって織り成されている。説明を極力排し、暗示的な描写と断片的なエピソードの積み重ねによって全体が見えてくるポリフォニック(多声的)な語り口は、ロバート・アルトマンの「ショート・カット」やポール・トーマス・アンダーソンの「マグノリア」を連想させるだろう。あるいは、登場人物たちの理不尽極まりない運命を大らかに肯定したルイス・ブニュエルのアナーキーな晩年の傑作群や、その多大な影響下から出発したペドロ・アルモドバルの罰当たりな不条理コメディに共通する肌触りも感じられる。だが、デルフィース・グレースのヒロインたちに注ぐ親密で暖かい眼差しは、極めて独自のものといえよう。

物語を彩る華たち

様々なく秘密>を抱えるヒロインたち――ブニュエルに見出された大女優アンヘラ・モリーナ(「ライブ・フレッシュ」)、「クレヴの奥方」のキアラ・マストロヤニ、フレンチポップス界のスター、リオ、そしてオゾンの「サマードレス」のルシア・サンチェス。この個性派女優たちの絶妙なアンサンブルも見所のひとつといえよう。また、美しい華たちの中において翻弄されながらも安息の地へ辿り着く男に、フランス映画界を担う演技派ジャック・ガンブラン(「マドモワゼル」)が扮し、作品にさらなる奥行きを加えている。



めざめ
 Carnages

<http://www.carnages-lefilm.com>

監督・脚本:デルフィース・グレース / 製作:ジェローム・ドプフェール / 撮影:クリステル・フルニエ / 編集:フランソワ・キクレ / 録音:ピエール・アンドレ / ミキサー:フランソワ・ミュージー / ガブリエル・アフナー / 美術:アンドレ・フォンスニー / 衣裳:マリエル・ロボー / 音楽:エリック・ヌヴー / キャスティング:アントワネット・ブーラ / 出演:アンヘラ・モリーナ / キアラ・マストロヤニ / ルシア・サンチェス / リオ / ジャック・ガンブラン / エステル・ゴランタン

2002年/フランス=ベルギー=スペイン=スイス合作 / 2時間12分 / カラー / シネマスコープサイズ / 35mm / ドルビー-SRD / 提供:エレファント・ピクチャー+ / 日活+ユーロスペース 後援:ユニフランス 配給:ユーロスペース

6月5日(土)～6月17日(木) モーニングショー

※終了日にご注意ください

連日 あさ11:30 (終1:50 1日1回上映)

特別前売鑑賞券発売中!
 1400円(当日一般1700円の処)

●劇場窓口、電子チケットぴあ、ローソンチケットにて
 お買い求めください。

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト4F
 梅田ガーデンシネマ

TEL 06(6440)5977

URL <http://www.cineplex.co.jp>

